

**アクティブ・ラーニングに加え、
従来型の指導の重要性を再認識**

4月号の特集では、家庭学習時間の増加、教科に対する意識の改善など、児童・生徒の全国的な動向がつかめ、大変参考になった。アクティブ・ラーニングに加え、従来型の授業形態の支持が高いことも分かり、いわゆる流行に乗るだけでは不十分であることを再認識した。座談会も興味深く読んだ。「自学ノート」は、担任をしていた頃、中学校1年生から高校3年生までどの学年でも続けてきたことを思い出し、大変共感した。また、「できるだけ教えない」指導は、学生時代にアルバイト先の塾長から言われた言葉でもあり、30年経った今も心がけていることだ。

〔愛知県・匿名希望〕

「本物」に触れる経験が印象的

世は新しいものが好きな時代で、ネットや近未来関係の事項がよく取り上げられる中、4月号の「ハートをこがせ!」は、古典の世界へとタイムスリップしたようで新鮮に感じた。印象に残ったのは、ネットや教科書ではなく、本物に触れようということ、生徒が諦めずに俳句作りを続けた結果、短期間で成果を残せたということ。この成果はすごい。

〔静岡県・私立沼津中央高校・後藤松太郎〕

生徒の沈黙を大切に、授業に取り組み

4月号の「実践 アクティブ・ラーニング」は、同じ数学科担当として興味深く読んだ。沈黙の重要性はまさにそうで、静かだと教師

Reader's VIEW

Volume **2**

読者のページ

読者の先生方からのご意見を紹介します

は話したくなる。しかし、沈黙ということは、生徒は考えていたり、計算していたり、誰もが集中している時で、生徒は我々の話すことなど全くと言ってよいほど聞こえていない。群馬県立伊勢崎工業高校の荻戸貴利先生は、その時間を有効に活用して授業をされていた。これからの指導のヒントとなった。

〔東京都・私立東京農業大学第一高校・小堀健二〕

教育の場の理想形として参考にしたい

4月号の「指導変革の軌跡」の福岡県立八幡高校は、文理の枠を超えるという、恐らく最終的に教育の場で求められる形を意識して取り組まれている点に、深く感動した。教育の場の理想形として大いに参考にしたい。

〔大阪府・私立城南学園中学校・高校・北川真〕

**高校生と大学がつながる場は、
高大接続の点でも重要**

4月号の「大学Evolution」を読み、大学での初年次教育がどんな形で行われているかよく分かった。課題を自分たちで見つけ、チームでつくり上げていくという手法も参考になった。大学が高校生を対象にしたプロジェクトを行っていることは、高大接続の観点からもとてもよいと思う。

〔静岡県・沼津市立沼津高校・谷野公彦〕

教師川柳

若人の熱気で晴らす梅雨の空

兵庫県・とんちんかん

**『VIEW21』高校版は
ウェブサイトでも
ご覧いただけます!**

本誌の最新号、及びバックナンバーは、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトで公開しております。誌面のPDFや「改良! 指導ツール ピフォーアフター」の図版もダウンロードできます。ぜひご利用ください。

詳しくは

VIEW21 高校版

検索

<http://berd.benesse.jp/magazine/kou/>



編集後記

◎4月から『VIEW21』高校版編集部のメンバーとなりました、今校と申します。今号の表紙でご紹介した栃木県立茂木高校の取材では、「阿久津先生に出会えてよかった。恩師です」という生徒の言葉に感動しました。阿久津先生と生徒の間に強い信頼関係がなければ、この言葉は出てこなかったと思います。こうした感動を読者である先生方にお届けできるように、日々取り組んで参ります。どうぞ、よろしく願っています。(今枝)

VIEW21 6月号 Vol.2

2016年6月13日発行

発行人 山崎昌樹
 編集人 春名啓紀
 発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所
 印刷製本 (株)協同プレス
 編集協力 (有)ペンダコ
 執筆協力 中丸 満、二宮良太、長谷川敦、渡辺敦司
 撮影協力 荒川 潤、川上一生、田中秀和、谷口 哲、南 弘幸、ヤマグチイッキ

VIEW21編集部
 〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2016

VIEW21

2016 August 8月 Volume 3

次号は 8月22日発行(予定)
 『VIEW21』高校版は 年6回の発行です